

患者の皆様へ

2021 年 3 月 10 日（改訂第 3 版）

ブレストセンター

現在、ブレストセンターでは、「網羅的セクレトーム解析による乳癌新規診断マーカーの同定と癌間質-免疫編集機構の相互作用における癌進展機序の解明」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では乳癌の患者さんの診療情報などを利用して頂きます。乳癌の診断で 2004 年 1 月から 2020 年 12 月までに当科にて根治手術を施行され、手術時に採血された血清や、病理用パラフィンプロックが作成されて保管されている患者様が対象です。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「網羅的セクレトーム解析による乳癌早期診断マーカーの同定と癌間質-免疫編集機構における癌進展機序の解明」

2. 研究の意義・目的

乳癌は日本人女性が罹患する疾患の第一位となり、それに従い再発、転移の治療を受けている患者様も増加しております。そこで本研究では、乳癌の細胞株や、患者さんの術前術後の血清中蛋白発現を比較し、血清中で高発現している蛋白に注目し、乳癌の早期診断や癌進展度診断に深く関わる蛋白を見出すことを目的としました。

3. 研究の方法

乳癌あ診断で 2004 年以降（～2020 年 12 月）に当科にて根治手術を施行され、手術時に採血された血清や、病理用パラフィンプロックが作成されて保管されている患者さんが対象です。対象患者様の病理用パラフィンプロックや血清を使用して各種免疫染色や血清中のエクソソームや蛋白発現を解析し、各患者様の診療情報（性別、年齢、採血データ等）や臨床病理学的因子や予後データとの関連を解析し評価します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。データは匿名化された後、千葉大学と共同研究機関である麻布大学、北里大学にて解析されます。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。臨床データ等の診療情報は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究組織

麻布大学生命・環境科学部生化学研究室／北里大学 理学部物理学科 物性物理学講座
准教授 曾川 一幸

6. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。ので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 千葉大学医学部附属病院 ブレストセンター

本件のお問合せ先 医学部附属病院 乳腺甲状腺外科

医師 高田 護

043 (222) 7171 内線 72251